

令和7年度

「女性医師支援・ドクターバンク連携 近畿ブロック会議」

令和7年10月11日

奈良県医師会



奈良県立医科大学医学科におけるキャリア教育/

男女共同参画の理解を深める教育/ダイバーシティ推進を考える教育

良き医療人育成プログラム(6年一貫教育授業科目) 令和6年度

・ 1年生(必修) **次世代医療人育成論**

「奈良県の男女共同参画」 奈良県子ども・女性課課長の講演

奈良県医師会は奈良県男女共同参画推進サポーターに参加

・ 2年生(必修) **ロールモデルを探す**

平成28年度以降、奈良県医師会会長、奈良県医師会理事、奈良県医師会所属男女医師が講演

「医師会の役割について」 奈良県医師会理事 樋上謙士 先生

「医師の多様性」 山内醫院 院長 山内 優美 先生

・ 3年生(必修) **私のキャリアパス I**

・ 5年生(必修) **私のキャリアパス II**

※令和6年10月20日「令和6年度女性医師支援・ドクターバンク連携近畿ブロック会議」資料より

樋上謙士理事 講演と小テスト 一部抜粋 (令和6年5月17日実施)

女性医師バンクについて

- ☆ 平成19年1月30日開設の職業紹介事業
- ☆ 求人・求職 紹介から成立まで利用料はすべて無料
- ☆ 女性・男性問わずすべての医師が利用可能
- ☆ 医師会員・非会員問わず利用可能
- ☆ 日本全国、専任コーディネーターによるマッチング

日本医師会女性医師バンク

検索



日本医師会作成資料

まとめ

- 医師会の役割は国民の生命と健康を守ること
- 医師会の役割は医師の医療活動を支えること
- 医学は科学、医療は制度

- ① 医師会の医療活動として正しいのはどれか
a: 休日夜間急患センターへの出務
b: 地域行事の救護班
c: 電話相談業務
d: 災害時の救護所・避難所への巡回診療
e: 感染症拡大時の検査センターへの出務
- ② 医師会の公益活動として正しいのはどれか
a: 警察業務への協力
b: 防災会議
c: 地域医療に関する会議
d: 障害者認定審査会
e: 介護保険認定審査会
- ③ 医師会の地域保健・公衆衛生活動として正しいのはどれか
a: 母子保健
b: 1歳6か月児健診
c: 学校健診
d: 特定健診
e: 予防接種
- ④ 医師会の活動として正しいのはどれか
a: 問題がある医師には厳しく対応する
b: 女性医師の就業率が最低になるのは医籍登録後12年である
c: 日本医師会女性医師バンクには医師会員のみが登録できる
d: 同女性医師バンクには女性医師のみが登録できる
e: 同女性医師バンクでは契約成立時に費用が発生する
- ⑤ 日本の医療制度として正しいのはどれか
a: すべての国民が、公的医療保険に加入する国民皆保険である
b: どの医療機関にも自由に受診できる
c: 教授と研修医では診療報酬が異なる
d: 東京都と奈良県では診療報酬が異なる
e: 職員の給与を増額するために個々の医療機関は値上げできる

山内優美院長 講演とグループワーク

一部抜粋 (令和6年5月17日実施)

医師会活動

- ・日本医師会
- ・奈良県医師会
- ・地区医師会 (生駒地区医師会)
- ・町医師会 (斑鳩町安堵町医師会)
- ・西和7町広域医師会



グループワーク課題

課題 各自がなりたい医師像を表現してください

例) ○○○○な□□□□□

- 神の手、赤ひげ、ブラックジャックのように や
信頼される、面倒見のいい、断らない など**抽象的に**
- 救命救急医、脳神経外科医、腫瘍内科医、など**具体的に**
政治家、実業家、動画配信インフルエンサー、などもOK

- ・面倒見の良い小児科・・・人とのつながりを大事に！
- ・神の手の外科医・・・圧倒的技術！
- ・常に冷静な救急医・・・感傷的にならない！
- ・子供心を忘れない研究医・・・好奇心追及！
- ・コミュニケーションが積極的な医療者・・・多職種連携！
- ・留年させない大学教授・・・学生の学習意欲の向上！
- ・患者、地域社会に真摯に向き合う開業医・・・人々の社会、文化的背景を考慮！
- ・楽しく仕事ができる勤務医・・・ワークライフバランスを大事に！
- ・信頼される内科医・・・患者を安心させる！

↑ 医学科2年生によるグループワークの一例 ↓

臨床医(心理的配慮)	臨床医(技術レベル)
・嫌な顔をしない内科医	・失敗しない外科医
・親切な小児科医	・全知全能の救急救命医
・魅力的な小児科医	・学び続けるエリート医師
・患者さんに寄り添える臨床内科医	
・患者さんを安心させることのできる医師	
臨床医(その他)	研究医
・同僚から信頼される心療内科医	・異分野融合した手法を駆使した小児がん研究医

◆医師の男女共同参画、女性医師支援に関するアンケート調査

「奈良県医師会男女共同参画推進事業ワーキンググループ」の取組の一環として、全会員を対象に標記調査を実施中。本調査は、会員の男女共同参画ならびに女性医師支援に関する活動状況を把握し、これらの問題に対する意識を理解することで、県内医療従事者のワークライフバランスや職場環境の改善に役立てることが目的。

《主な調査内容》

- I. 回答者属性…年齢、性別、勤務形態、診療科、勤務時間など
- II. 出産・育児に関する実態…必要な支援、育休の取得状況など
- III. 介護に関する実態…介護の状況、介護休暇の取得状況など
- IV. ワークライフバランス…仕事と家庭の両立に重要なものなど
- V. 年収と満足度…社会的地位への満足度など
- VI. その他…医師会への希望、ロールモデルになる医師の照会など

※回答期日 令和7年10月末

**“奈良県医師会では、今後も県内の医師や医学生、県民の皆さまに
役立つ女性医師支援活動を継続していきます”**

奈良県医師会男女共同参画推進事業ワーキンググループ

